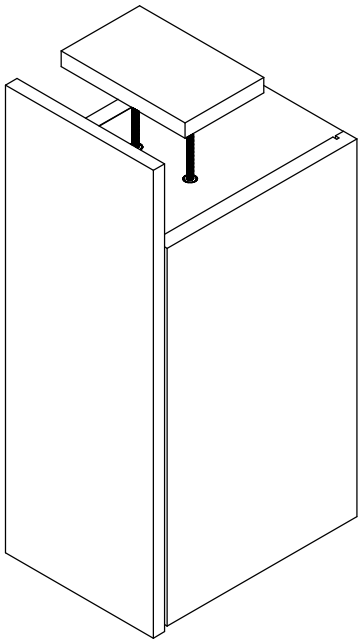
JAJAN

120601

セミオーダー壁面システム収納ラック
上台　ハイタイプ・ロータイプ
ＣＭ−２３ＵＨ・２３ＵＬ
組立取扱説明書



このたびは弊社製品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。
この説明書及び添付書類をよくお読みの上、末永くご愛用賜りますようお願い申し上げます。

※ この説明書及び、他添付書類は必ず保管してください。
※ 万一商品に不良や部品不足などの不都合がございましたら、
　下記の製造ロット番号を併せてご連絡ください。

品　番		幅×奥行×高さ（cm）
ﾊｲﾀｲﾌﾟ	CM-23ULL	２３.５×３１×９０～８１
	CM-23UL	２３.５×３１×８０～７２
	CM-23UM	２３.５×３１×７１～６３
ﾛｰﾀｲﾌﾟ	CM-23US	２３.５×３１×６２～５４
	CM-23USS	２３.５×３１×５３～４５
材　質	扉前面：ポリエステル化粧合板 その他：プリント化粧合板	
耐荷重	可動棚：１０kg	

製造ロット番号

注意事項

①ご使用になる前にこの「注意事項」をよくお読みの上、正しくお使いください。

②ここに掲載した「注意事項」は安全に関する重大な内容を記載しておりますので、必ず守ってください。
（お子様のいるご家庭では特に注意してください。）

これらの記載内容は次の意味をあらわしています。

警告：誤った取扱いをすると、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定されます。

注意：誤った取扱いをすると、使用者が重傷を負う危険及び物的損害の発生が想定されます。
※物的損害とは家屋及び家畜･ペットに関わる拡大損害を示します。

組立上のご注意

警告:組み立ては二人以上で行ってください。

警告:組み立ての際は広い場所で行い、工具類の取り扱いには十分注意（特にお子様）してください。

警告:ネジ･締付金具等で、確実に止（締）めてから組み立ててください。不十分な止（締）めの場合、使用中本品が破損しケガをする恐れがあります。

注意:ドライバー等必要な工具類を用意してください。ただし電動ドライバーは使用しないでください。

注意:組み立てる前にパーツ及び部品の数を確認してください。

注意:パーツには番号が押印されています。パーツ図の番号と押印されている番号を確認してください。

注意:ダンボールなどを下に敷いてから組み立ててください。床が傷つくことがあります。

注意:組立説明図の順番を間違えると組み立てられない場合があります。組立説明図の順番に沿って組み立ててください。

注意:本品が組み上がったら、ネジ･締付金具等で、確実に止（締）めてあるか、再度確認してください。

設置上の注意

警告:地震などで本品が倒れ、ケガをすることがあるので、建物の壁･床･天井などに固定用金物や固定部材でしっかり固定してください。

警告:本品を設置・移動する際は必ず二人以上で行ってください。その際収納物は全て取り除いてください。扉をつかんで持ち上げた場合、本品が破損する恐れがあります。

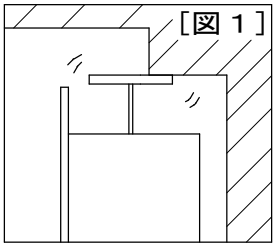
注意:高温･多湿の部屋で空気が滞留するとカビやダニが発生しやすくなり、健康を害する事があります。部屋の換気をしてください。

注意:直射日光や熱･冷暖房器の風などが直接当たらない様にしてください。本品が歪んだりする原因となることがあります。

注意:本品は水平を保つように置いてください。本品が歪んだまま使用していると扉の開閉がスムーズでなかったり、本品の強度が落ちる等、本品が壊れたりケガをする原因となることがあります。

注意:本品を設置・移動する際は引きずらないでください。本品の破損や床にキズがつく恐れがあります。

注意:天井の形状がダクトや梁などで出っ張っていた場合は突っ張った際に大変危険です。設置場所を変えてください。[図１]参照



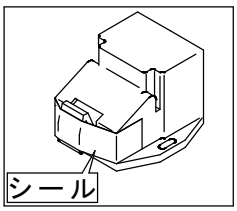
注意:設置する場所の天井の強度を確認してください。突っ張った際に天井が異常に持ち上がったり外れたりすると、突っ張る機能が失われます。

注意:天井やクロス、照明をキズつけない様に注意して設置してください。
（レジャーシートやダンボール等を敷いて作業してください。）

注意:天井固定金具のカップが天井固定板のカップ穴に完全に収まるまで締めてください。

注意:天井固定金具で適度に締め付けた後突っ張って固定できているか、かるく左右にゆすって確認してください。動かなければ設置完了です。

注意:「本品」と「下台」は必ず接続してください。本品の扉を開閉しているうちに落下や転倒の危険があります。又、本品がうしろへズレると扉が開かなくなります。



注意:耐震ロックへ貼っているシールは設置終了するまではがさないでください。扉が開かなくなります。本品を垂直にすればロックは解除します。

使用上の注意

警告:耐荷重を越える物は収納しないでください。本品が破損する恐れがあります。
※可動棚の耐荷重は10kgです。

警告:本品の上に立つ、座ったまま激しく動かす、踏み台代りに使う、不安定な姿勢で掛ける等しないでください。安定をくずし、倒れてケガをする危険があります。

警告:扉などにぶら下がる､無理な力で引っ張る等しないでください。倒れてケガをする危険があります。重心が前へ移り転倒することがあります。

警告:木材の接着剤等(ホルムアルデヒド)が残っている本品で、肌の弱い人はアレルギー症状をおこす場合がありますので、換気を十分にしてとり除く様にしてください。特に乳幼児の衣料等を収納される時はポリ袋やビニール袋等に入れたままの状態で収納してください。

注意:天板の上に物を置かないでください。

注意:水などで濡れたら乾いた布で拭き取ってください。本品が壊れる原因になります。

注意:濡れたものを直接置かないでください。本品が壊れる原因になります。

注意:可動棚は、棚受金具で確実に取り付けてください。不十分な取付けでは棚が外れ落ち、破損やケガをすることがあります。

注意:本品を移動する時は､落としたり倒したりしない様に手でしっかり持って運んで破損やケガのないようにしてください。

注意:ボルトや連結金具をしっかりと締めてください｡ゆるんだままでの使用によりボルト等が外れケガをする原因になることがあります。

注意:畳やカーペット等の上で使用する場合、荷重により本品が沈み、天井と本品とに隙間が生じつっぱり強度は弱くなります。再度天井固定金具を締め直してください。

解体上の注意

警告:解体時は二人以上で行ってください。

注意:組立順序とは逆の順に解体してください。

注意:本品に乗せてある物を全て取り除いてから解体してください。

注意:解体時に､使用している部品を無くさないようにしてください。

保守･点検の注意

警告:締付金具・丁番等の固定用ネジ類がゆるんでいないか時々点検し､ゆるみはじめたらしっかり締め直してください｡ゆるんだまま使用していると壊れてケガをする原因になります。又、本品の移動をした時も点検し、ゆるんでいたら締め直してください。

注意:害虫を発見した場合は、直ちに殺虫や防虫処理をしてください｡他から虫が入った事も考えられられますので、放置すると害虫が拡大する恐れがあります。

注意:部品の交換できる期間は２年間とさせて頂きます｡正常な使用状態で故障および損傷した場合は無料ですが、不当な取扱によって故障および損傷した場合は有料とさせて頂きます。

お客様へのお願い

注意:本品にセロハンテープ等を貼りつけないでください。変色・剥がれの原因となります。

注意:本品の改造はおやめください。

本品のお手入れの仕方

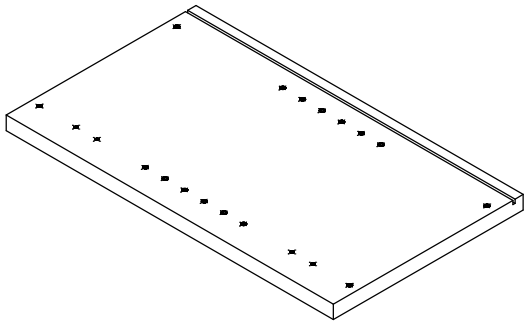
注意:本品のお手入れは柔らかい布でから拭きしてください。

注意:汚れがひどい場合は、柔らかい布に中性洗剤を薄めた液を付け、固く絞ってから拭き、その後、柔らかい布で十分にから拭きしてください。

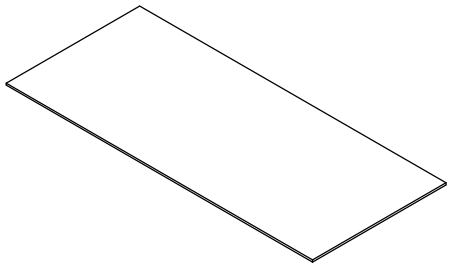
注意:ベンジン･シンナー･アルコール類及び、化学ぞうきんは表面の仕上げを傷めますので使用しないでください。

※組み立てる前にパーツ及び部品数の確認をしてください。パーツには番号が押印されています。
※床を傷つけない様にダンボール等を敷いて作業してください。

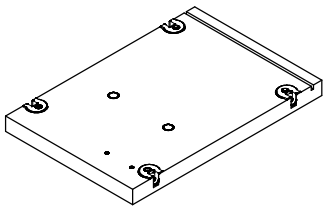
①側板　× 2



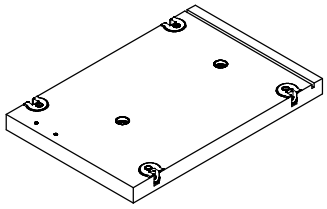
②背板　× 1



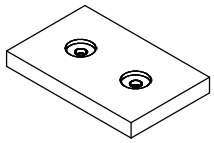
③天板　× 1



④地板　× 1

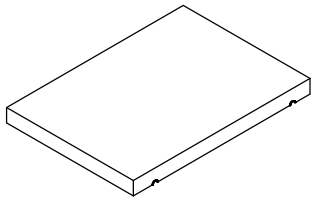


⑤天井固定板　× 1

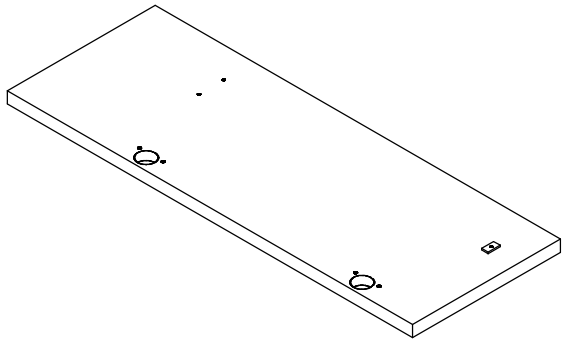


⑥可動棚

ハイタイプ　× 2
ロータイプ　× 1



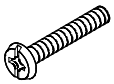
⑦扉　× 1



Ⓐシャフト　×９
（予備１含）

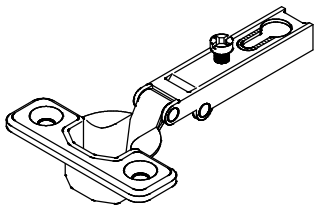
Ⓑ棚受金具
ハイタイプ　×９
ロータイプ　×５
（予備１含）

Ⓒボルト　×２
（３ｃｍ）

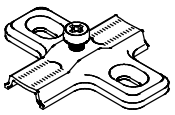


Ⓓ木ネジ　×１５
（予備１含）

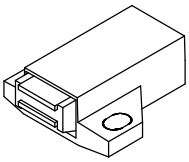
Ⓕ丁番　×２



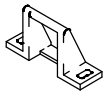
Ⓖ丁番受け　×２



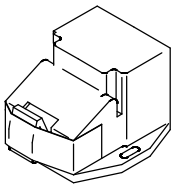
Ⓗプッシュマグネット　×１



Ⓘロック受け　×１

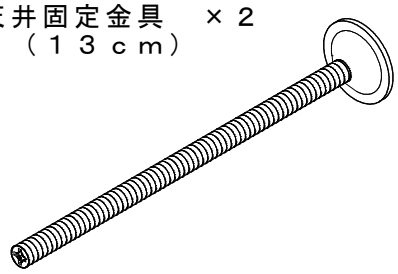


Ⓙ耐震ロック　×１



Ⓝスプリング　×２

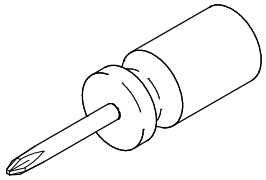
Ⓞ天井固定金具　×２
（１３ｃｍ）

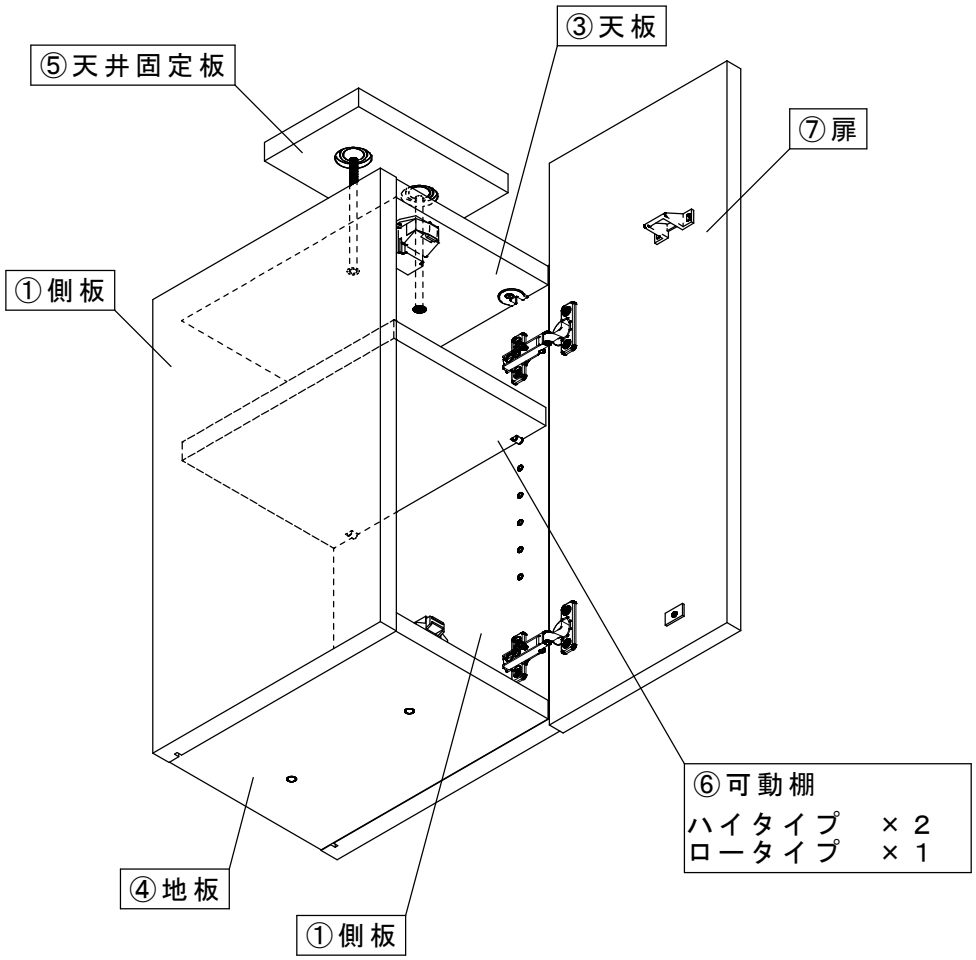


用意するもの

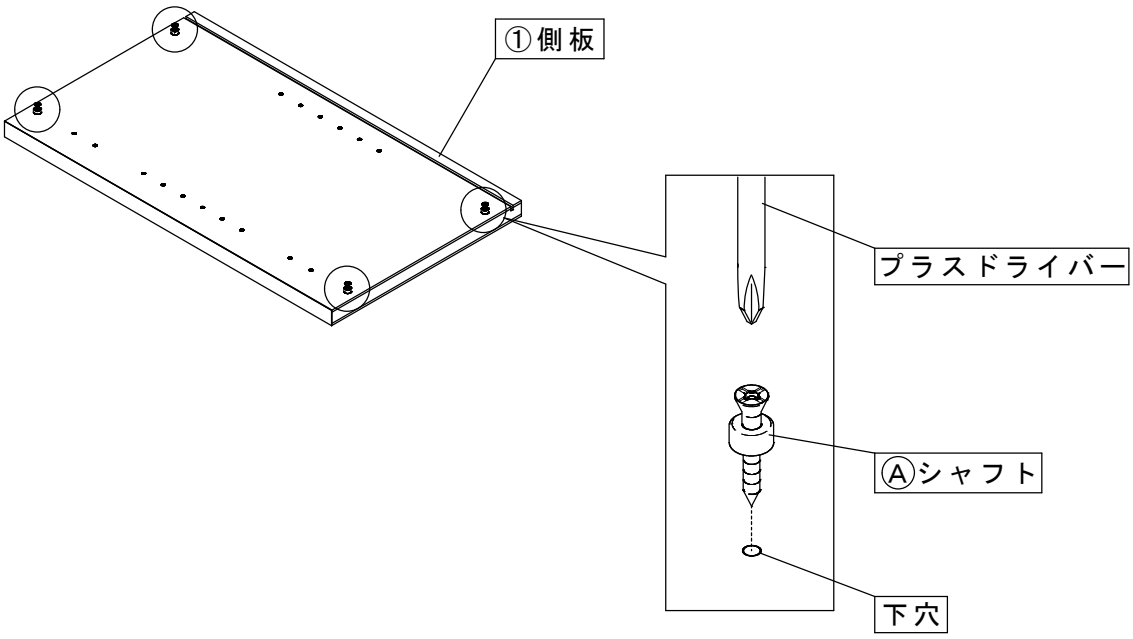
部品にあったドライバーを
用意してください

プラスドライバー



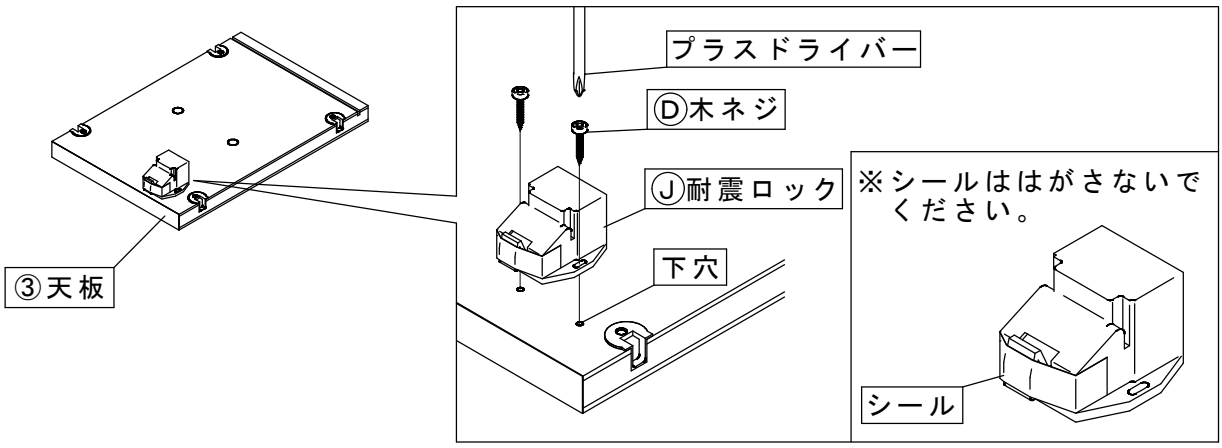


1 Ⓐシャフトを①側板へ取り付けます。

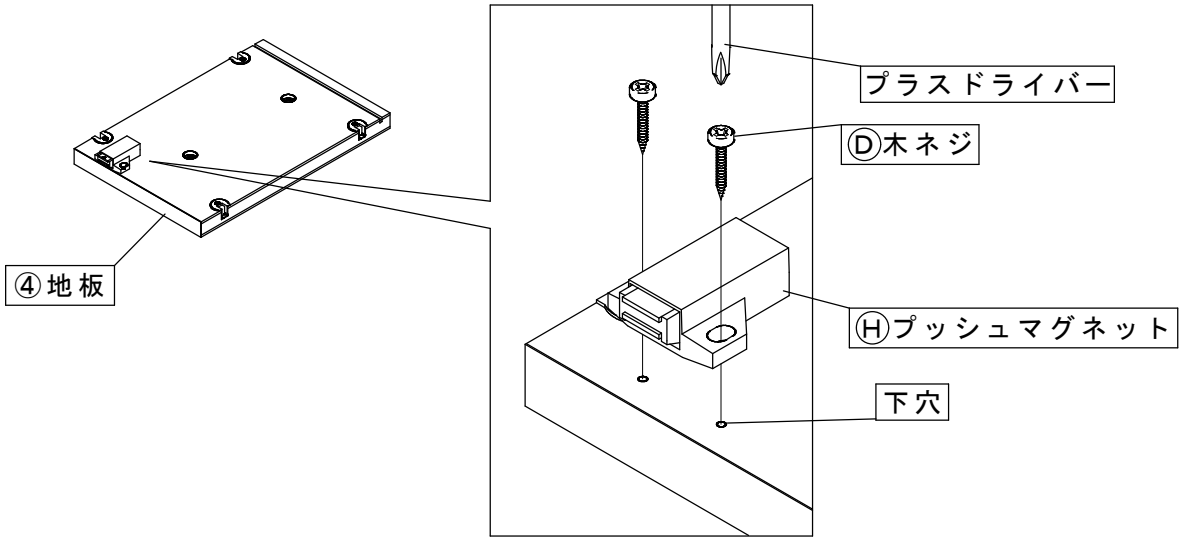


2 Ⓙ耐震ロックを③天板へ取り付けます。

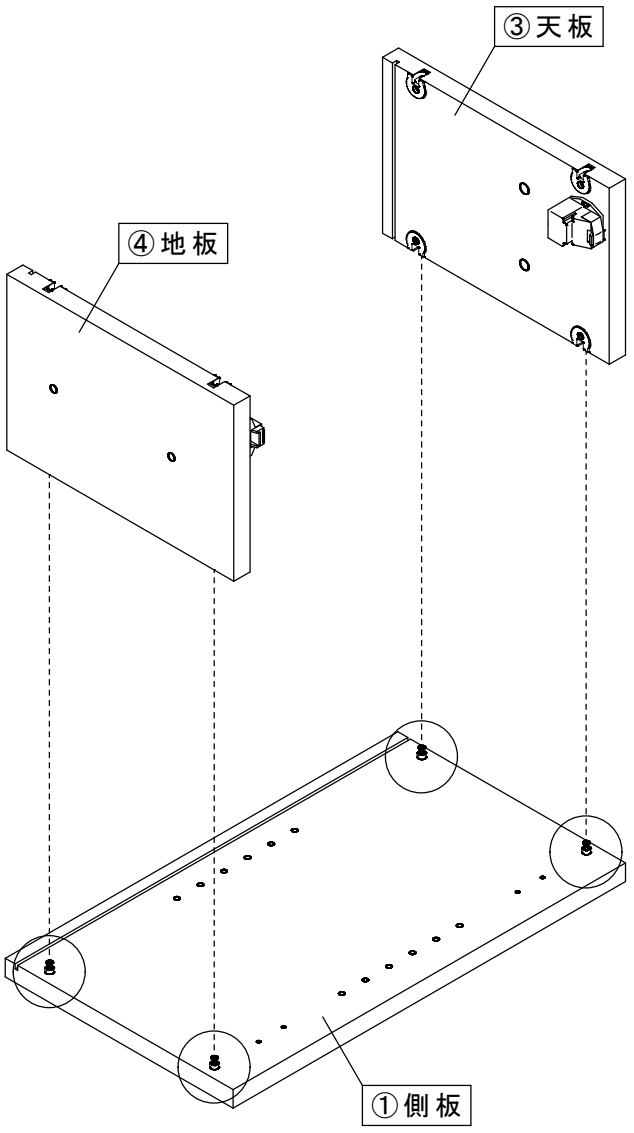
※耐震ロックに貼ってあるシールは設置終了するまではがさないでください。



3 Ⓗプッシュマグネットを④地板へ取り付けます。

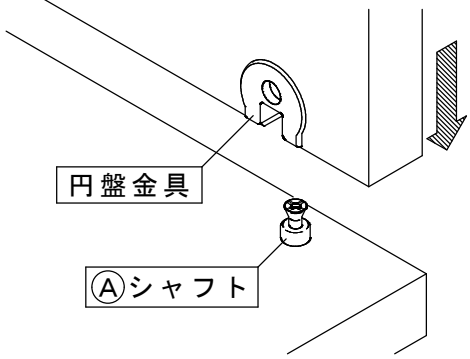


4　③天板、④地板を①側板へ取り付けます。

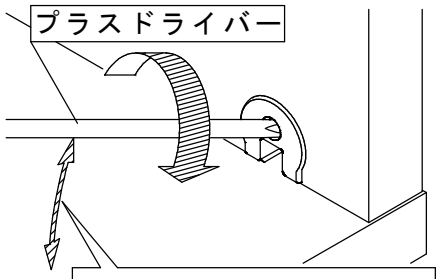


円盤金具取付説明

①円盤金具をⒶシャフトに差し込みます。



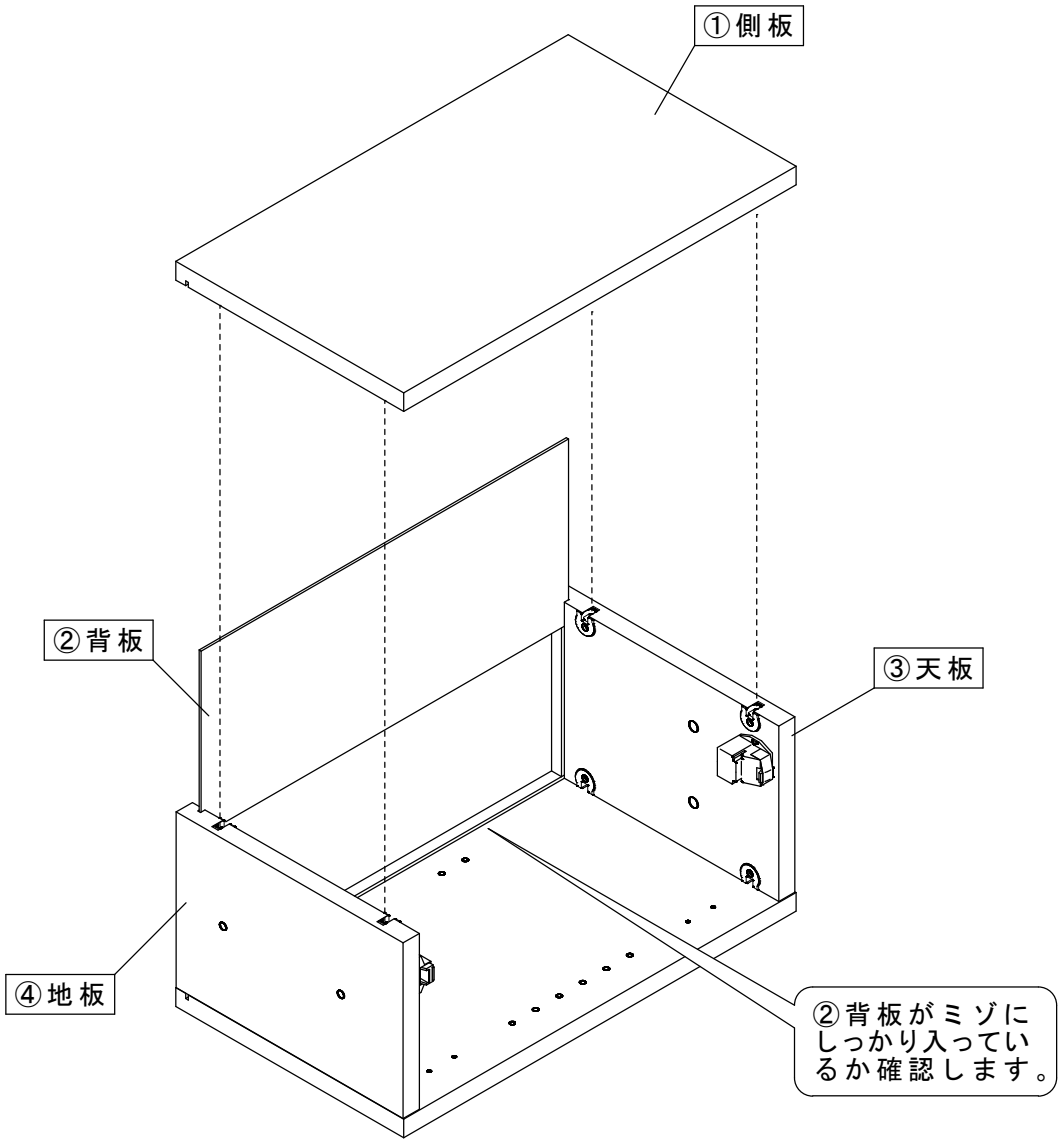
②プラスドライバーで1/2程度右回転させて固定します。



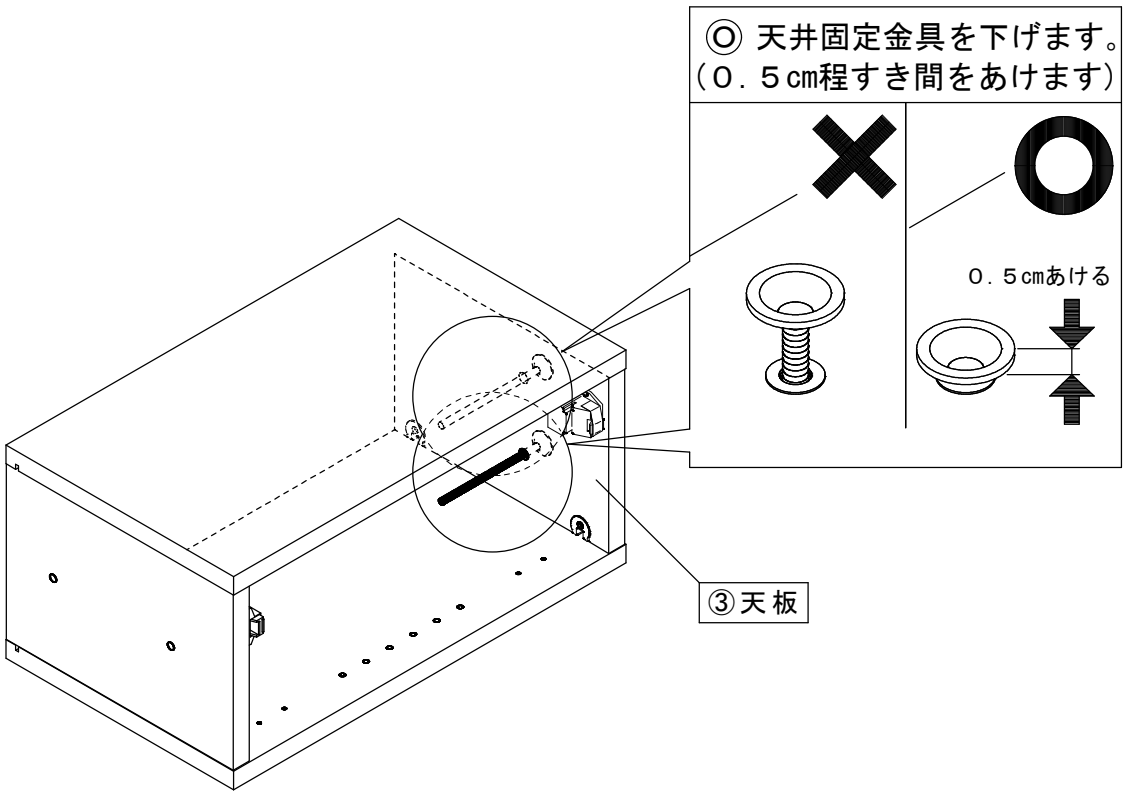
プラスドライバーは25度の角度で締め付けます。

5　②背板をミゾにはめ込み①側板を取り付けます。

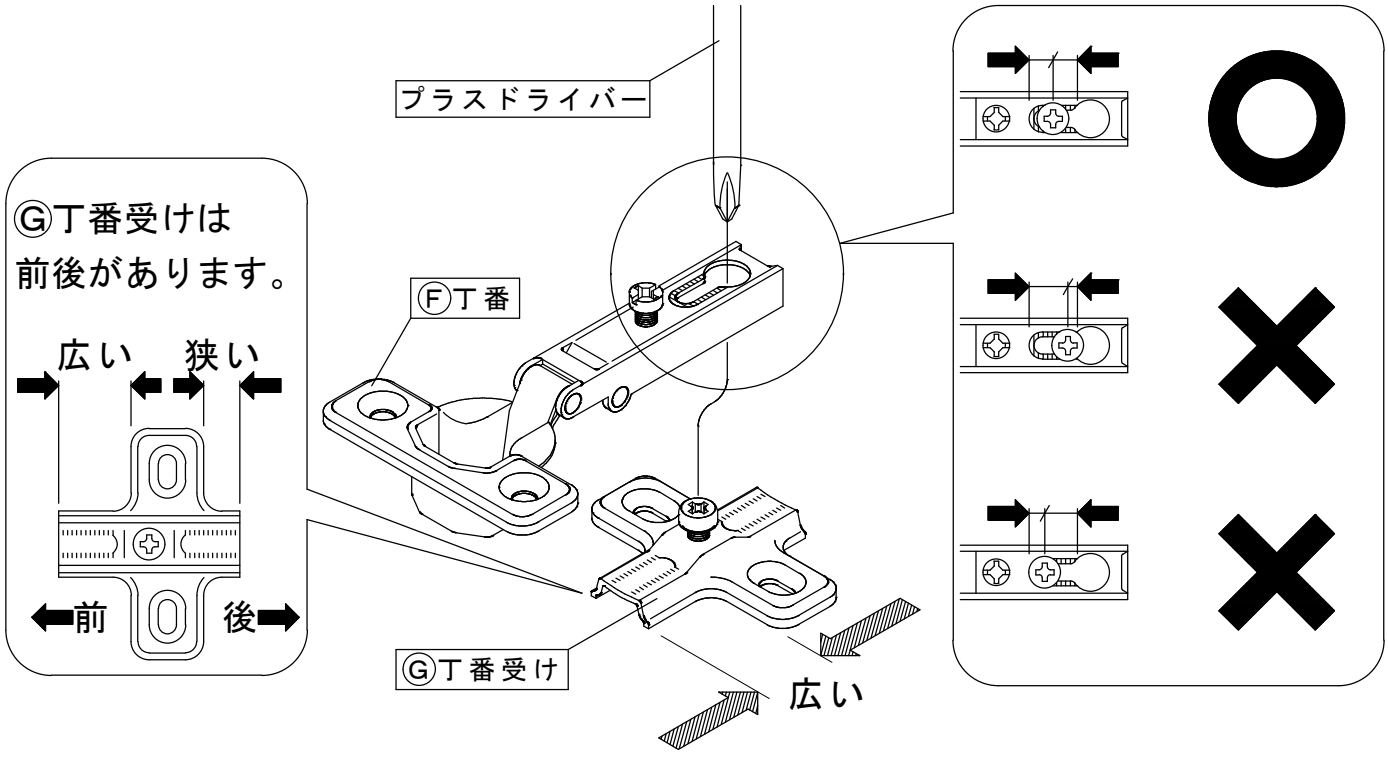
●６ページ 4 【円盤金具取付説明】を参照して締め付け固定します。



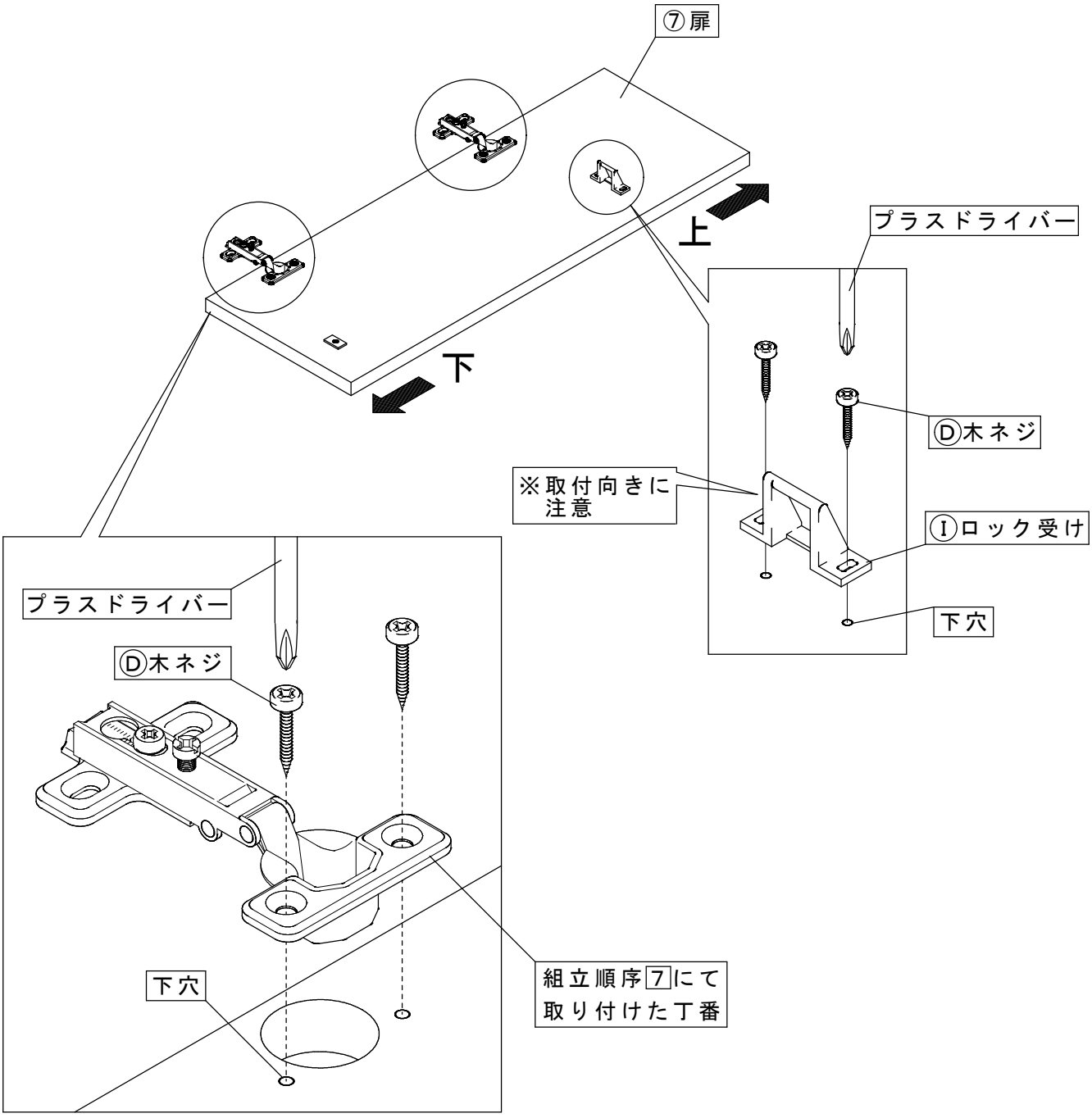
6　③天板にⓄ天井固定金具を取り付けます。



7　Ⓕ丁番へⒼ丁番受けを取り付けます。

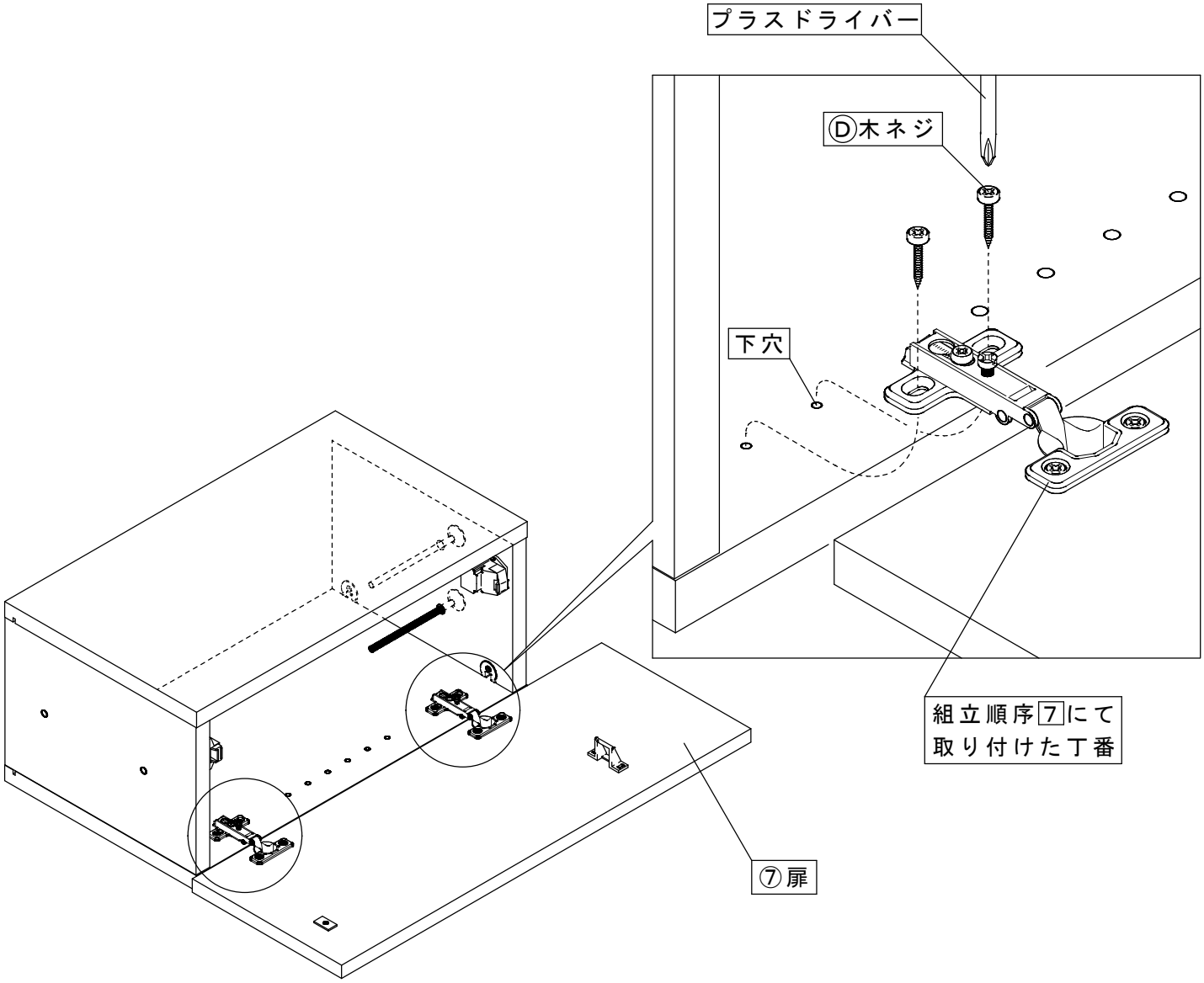


8　丁番とⒾロック受けを⑦扉へ取り付けます。

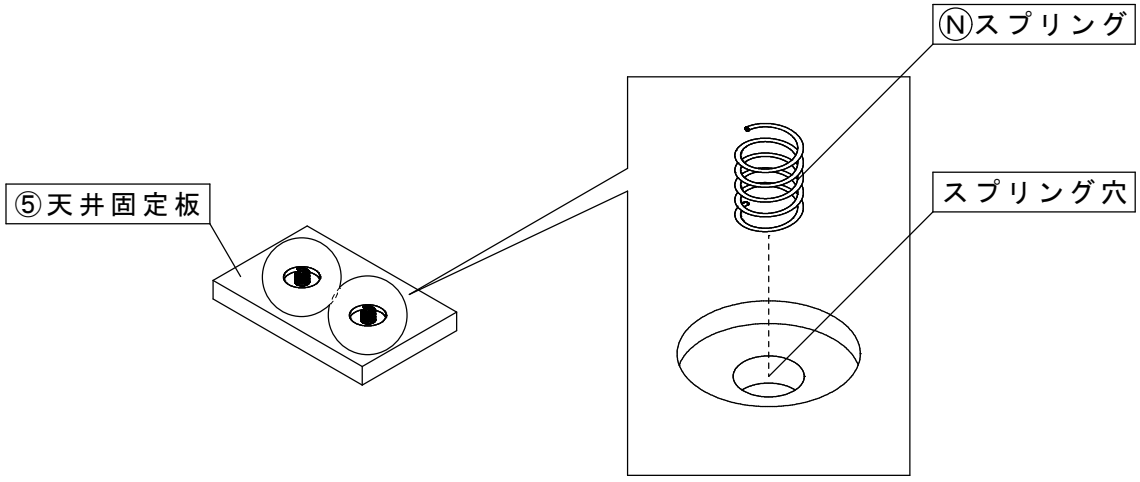


9　⑦扉を取り付けます。

●丁番の調整方法は１４ページ[丁番の調整方法]を参照してください。



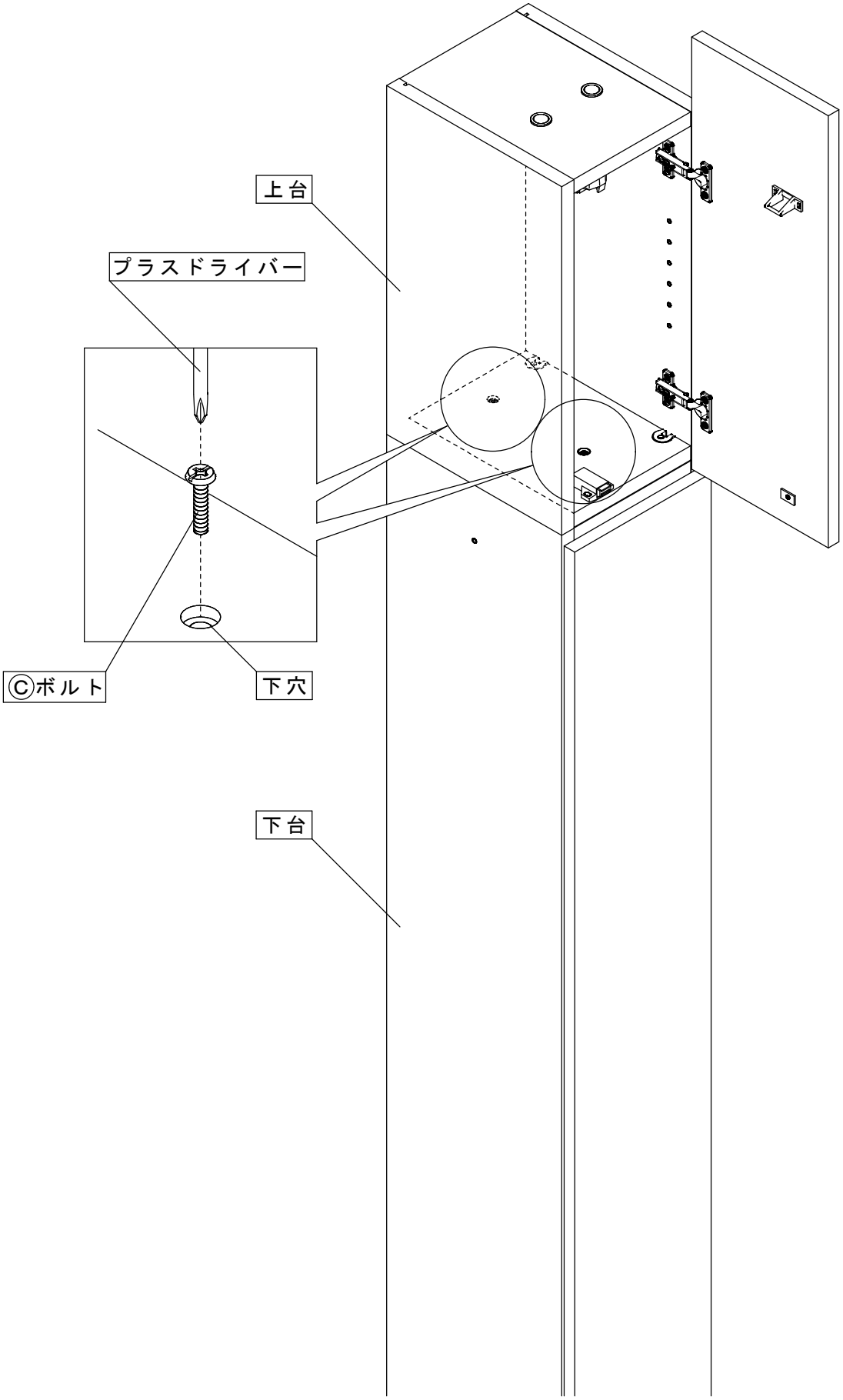
10　⑤天井固定板にⓃスプリングを取り付けます。



11 下台に上台を乗せ、Ⓒボルトで接続します。

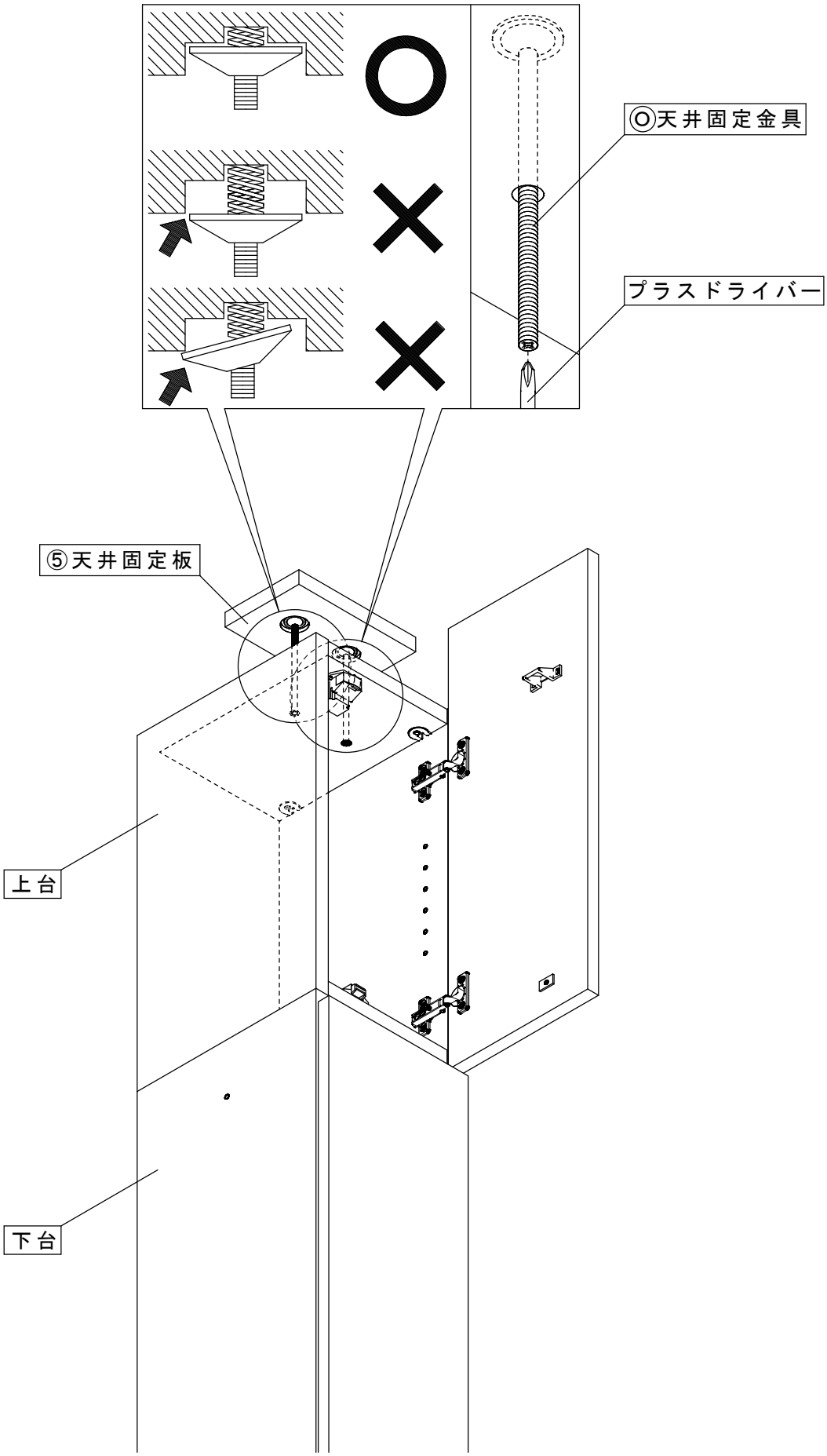
※必ず二人以上で作業を行ってください。

※天井やクロスを傷つけないように注意してください。



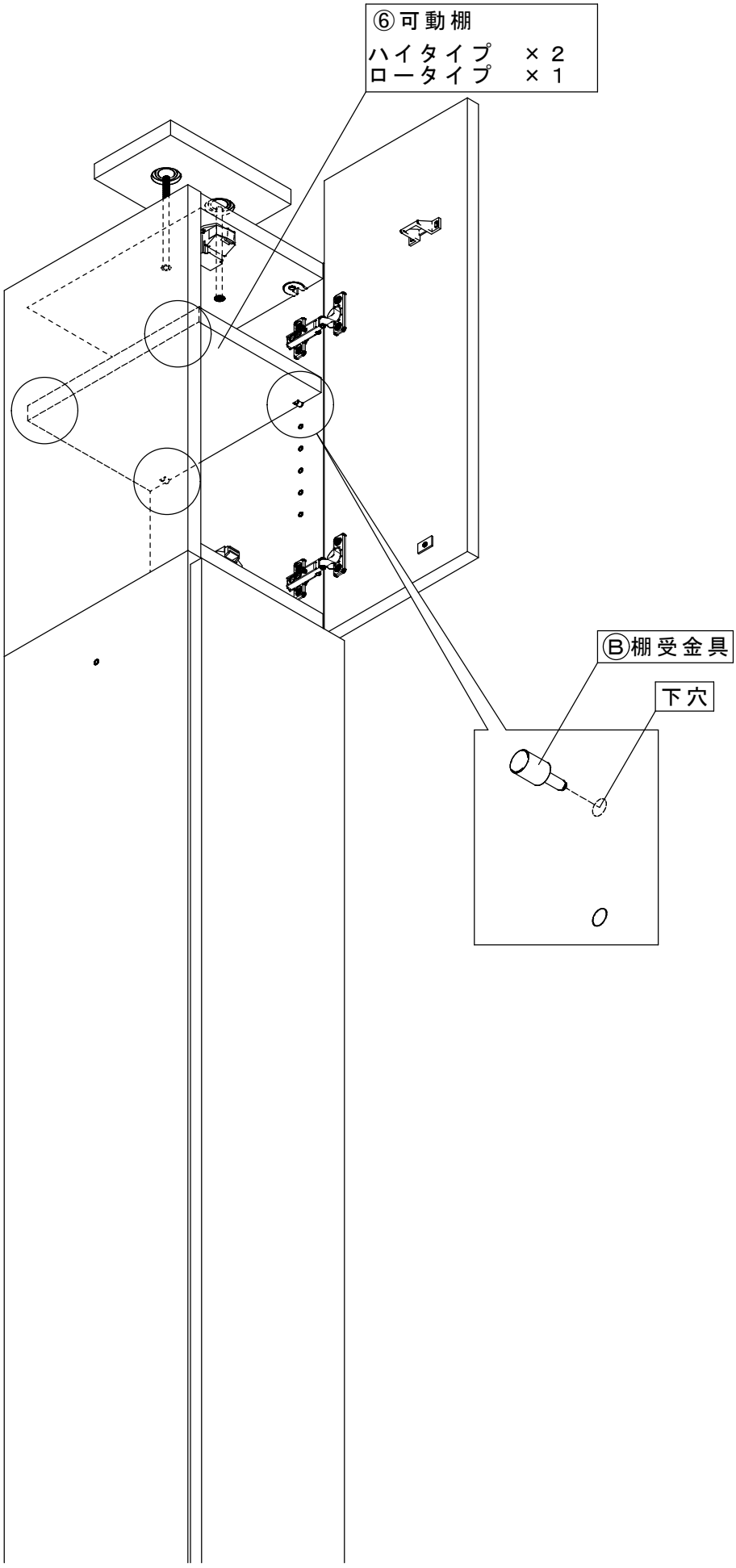
12 ⑤天井固定板を「上台」の上に乗せ、ⓞ天井固定金具のカップが⑤天井固定板のカップ穴に完全におさまるまでドライバーを適度に締めます。

※天井の強度を再度ご確認の上、突っ張ってください。

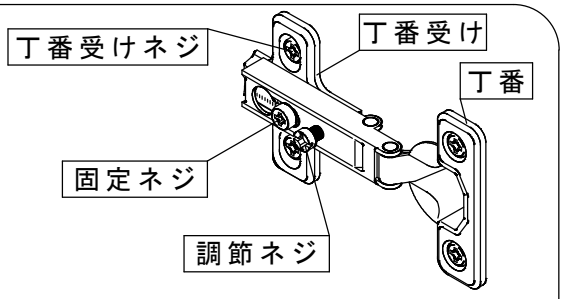


13 ⑥可動棚を取り付けます。

Ⓙ耐震ロックへ貼っているシールをはがして完成です。



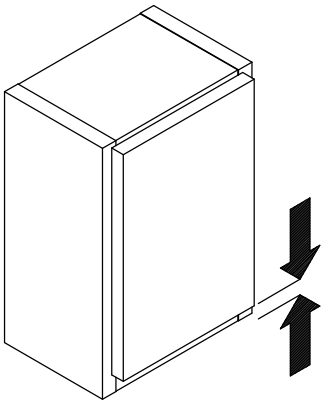
丁番の調整方法



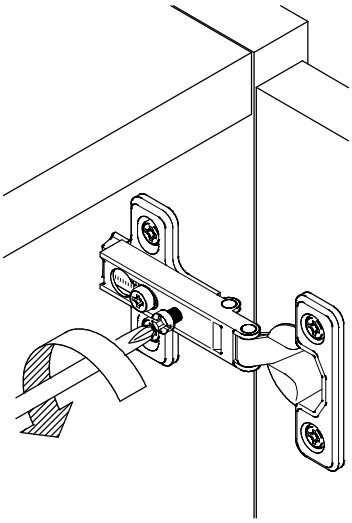
●本品を設置した際に扉と本品の間にズレ・隙間が生じている場合、本品が垂直に設置されていない事が考えられます。本品を垂直に立てください。

●それでもズレ・隙間が直らない場合は下図の方法にて調節してください。

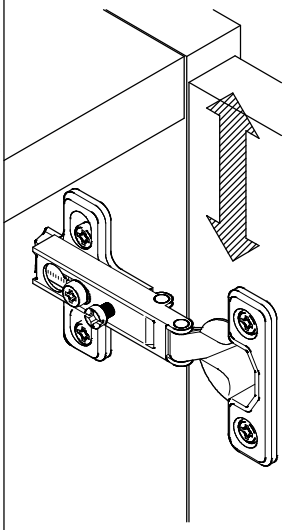
●扉が上下にずれている場合



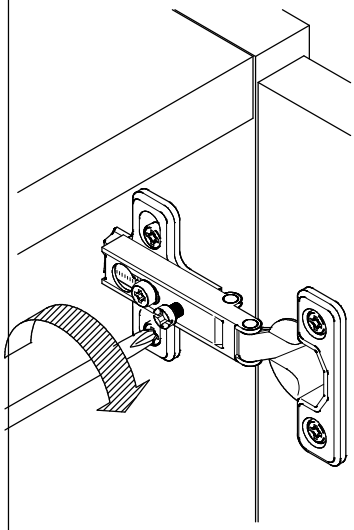
①丁番受けのネジをゆるめます。



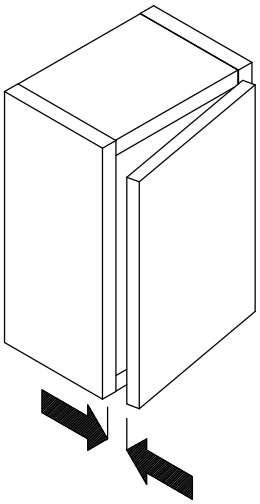
②扉を上下方向に調節します。



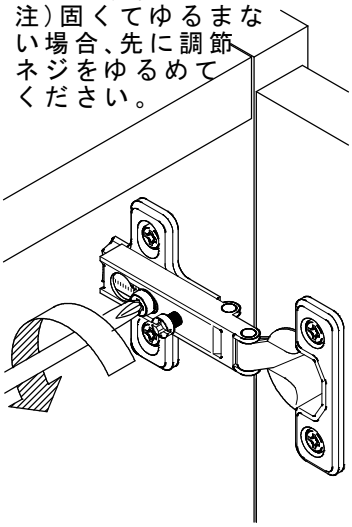
③丁番受けのネジをしめます。



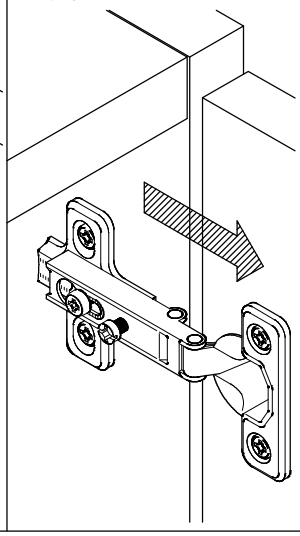
●扉を閉めても斜めになり浮いて閉まらない場合



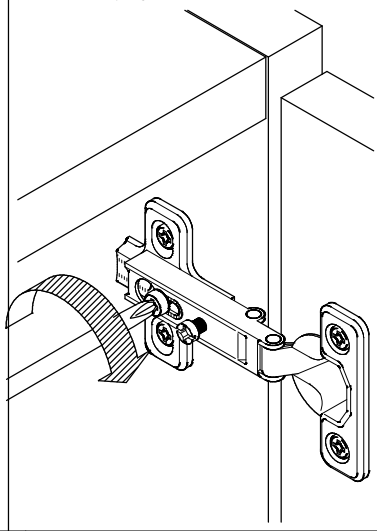
①丁番受けの固定ネジをゆるめます。
注)固くてゆるまない場合、先に調節ネジをゆるめてください。



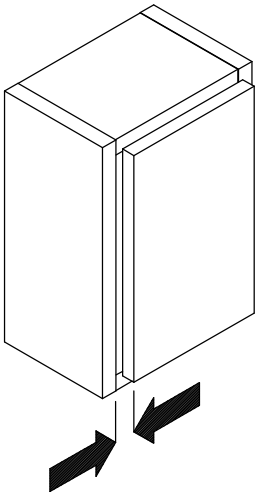
②扉を前方向に調節します。



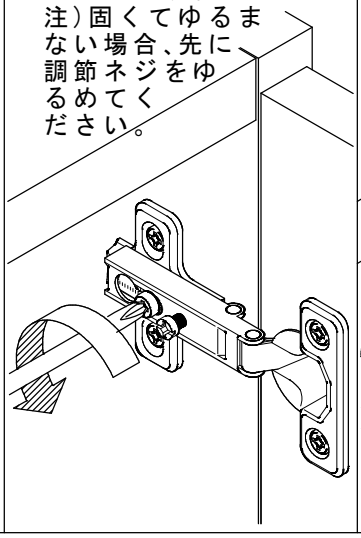
③丁番受けの固定ネジをしめます。



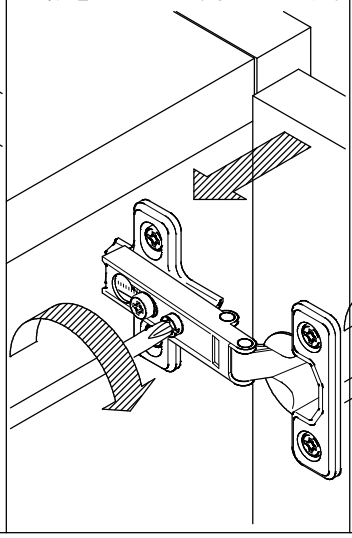
●扉を閉めても隙間が大きい場合
●扉が傾いている場合



①丁番受けの固定ネジをゆるめます。
注)固くてゆるまない場合、先に調節ネジをゆるめてください。



②丁番の調節ネジを回し扉を内方向に調整します。



③丁番受けの固定ネジをしめます。